

建設水道委員会会議録

1. 開催年月日

平成28年 6月21日 開会 9時58分 閉会 10時27分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

惣台己吉 柳井一徳 西田久志 大滝文則
井口勇 森下金三

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 上野安是

(2) 説明員

副市長	三宅生一	建設経済部長	三宅道雄
水道部長	妹尾福登	建設経済部次長	橋本良啓
水道部次長	谷本悦久	建設経済部地域創生参与	妹尾光朗
建設経済部参与	武田吉弘	芳井支所長	三宅孝一
美星支所長	金高常泰	上水道課長	田中伸廣
上水道課長補佐	井岡和浩	都市建設課管理係長	西本勝志

(3) 事務局職員

事務局長	川田純士	事務局次長	岡田光雄
主査	柳本兼志		

6. 傍聴者

(1) 議員 河合謙治、三宅文雄、三輪順治、森本典夫

(2) 一般 0名

(3) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（惣台己吉君） 皆さんおはようございます。

ただいまから建設水道委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いします。

副市長（三宅生一君） 皆さまに、改めましておはようございます。

本日は、夏至ということのようでございます。本年は梅雨が長いというようなことが言われておりますが、その中で梅雨本番というふうなことでありまして、けさも一日を通して降雨の予報となっております。こうした中、本市におきましても、市道あるいは農道それから水道等の状況を引き続き怠りなくパトロールをしているところでもあります。

そうした中、本日は建設水道委員会の開催をいただきました。皆様方には何かとご多用の中、お繰り合わせいただきましたこと、厚くお礼を申し上げたいというふうに思います。

本委員会に付託されております案件であります。条例が2件ということでもあります。慎重に審議をいただきながら、適切なお決定を賜りたいというふうに思っております。

また、お手元に平成28年6月市議会報告事項というものをお配りをいたしております。皆様方には後ほどお目通しのほうよろしくお願いを申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

〈議長あいさつ〉

〈議案第52号 井原市営住宅条例の一部を改正する条例について〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第53号 井原市簡易水道条例の一部を改正する条例について〉

委員（森下金三君） この川町の簡易水道のことについてですが、下鴨地区などと一緒に山村地区と。本会議でも説明がございましたが、この水道は、確認の意味でお尋ねするんですが、広域農道をすることによってその周辺の水源をととられる人の水に影響するというので、県が事業主体となってやった工事だと思っておりますが、それで間違いありません。

上水道課長（田中伸廣君） おっしゃられるとおりで、広域農道の事業を推進するために、その梅木地区の方の水源がなくなるということで、川町簡易水道の水が受水できないか

ということで、それにつきまして県事業で全て行われております。

委員（森下金三君）　それで、本会議での説明は11件、24人というふうに聞いて、その水道に影響するのは11件ということですか。

上水道課長（田中伸廣君）　県の補償エリアの件数につきましては当初9件でしたが、現在6戸が対象戸数で居住されとることになりますので、沿線、県の補償区域外の方も11戸24人の中には含まれております。

委員（森下金三君）　わかりました。

それで、本会議である議員が質問されたときに、山村地区の全体の戸数は何件かということがあったんで、三十数件っていう言われたんですけど、あとこの区域、補償でされた以外にも、例えば三十何件ある中からこの水道を引きたいというような、将来起きた場合は可能なかどうか。

上水道課長（田中伸廣君）　川町簡易水道の区域拡張に係る対象戸数は11戸となっておりますので、それ以外の残り28戸の方につきましては、区域拡張は行わず、飲料水供給補助金等をお願いしたいというふうに考えております。

委員（森下金三君）　例えば、水道管が本管が走つとるすぐ近くであったとした場合、そういう状況においても飲料水供給補助でなければいけないのか。それとも、本管から引くことができるのか、ここら辺はどうなのか。

上水道課長（田中伸廣君）　県が配水管を布設しておる路線につきましては、県道に埋設しとります下鴨から山村の梅木地区につきましては、県道の沿線で川の山側のほうになりますが、その方については区域に入っております。山村地区の残り28戸の方というのは、結構山地部に位置される方が多いということで、配水管等は布設ができてないエリアということになります。

委員（森下金三君）　県道の山側はいいけど、県道をまたぐところ、例えば県道をまたいで沿線上にある家もあるわけですね。そういう方に対しては、県道をまたいで県が許可すれば、またいで配管して、要望がありやできるんですか。その辺はどんなです。

上水道課長（田中伸廣君）　現状では、県道から川までが区域と指定しておりますので、それ以外の方の川を越えての側につきましては、飲料水供給補助金のほうをご利用いただければと考えております。

委員（森下金三君）　地域についてはわかりました。

それで、将来的なことなんです考え方を聞きたいんですが、いろんな整備をして完璧なきれいな水が出るようになった。それで、いろんな簡易水道が、中央簡水とか、種、芳井にはあれで、美星には美星、宇土、水名といろいろあるわけですが、格差の問題になるのが料

金です、格差料金。今言う川町が一番安いわけですね。へえで、将来的に段階的に統一していくのか、このままの水道料金でずっと推移していくのか。急に上げるということになるとまたいろいろ問題が起きてくるわけですから、将来的な考え方を、上げるんにしろ全部統一するということになる、料金格差が今かなりあるから問題が起きるんじゃないかと思うんですけど、将来的にはその辺をどういうふうに考えておられるのかとかということを、ちょっと。その10年後でも20年後でもいいです。

上水道課長（田中伸廣君） この簡易水道再編推進事業で、芳井地区の簡易水道をまずは一つにしますよという説明は、各川町、種花滝、高原地区の簡易水道の組合の方にご説明をさせていただいております。事業が完成した暁には、水道料金の改定を伴いますという説明まではさせていただいております。将来的には一市一水道を目指しておりますので、当然料金改定とかというのは統一料金にしていく方向では考えておりますが、今現在ではまだどういうふうな料金にするとかという方向性がまだ出ておりませんので、今後また報告させていただければと思っております。

委員（森下金三君） わかりました。

一番きれいな水が出るということはええんです。そういうことで値段を上げるときには十分に説明を。ただ聞くところによると、自治会でも来た人は知っとる、末端には届いてないというような状況が多い。末端まで周知徹底するというのは非常に難しい面があるけど、時間をかけてそういう点を理解をしていただくような努力をしていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上で終わります。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（惣台己吉君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願ひたいと思ひます。

〈異議なし〉

〈所管事務調査〉

〈平成28年度公共事業等事業計画について〉

委員（森下金三君） 済いません。7ページの28年度簡易水道事業の中に、新規と言われた高原地区の件ですが、これはもう28年度で工事が終わるのか、それとも継続して2年、3年かかるのか、この辺はどんなんですか。

上水道課長（田中伸廣君） 当初は国へ対しての要望につきましては、この箇所を今年度で完成という目標に持っておりましたが、国からの割り当てが満額来てないということから、今年度一部排水池等の整備を行い、来年度以降事業が残るという計画になります。

委員（森下金三君） そしたら、この事業を満額というたら、大体予算的にはどのくらいぐらにかかるんですか。

上水道課長（田中伸廣君） 高原地区におきましては、工事だけで約8,000万円ぐらいを、今全体で予定しておりますが、今年度はそれだけついてないということで、その50%ぐらいで考えております。

〈なし〉

委員長（惣台己吉君） 本件については終わります。

以上で所管事務調査を終わります。

ここで執行部の方にはご退席願いたいと思いますが、何かございましたらお願いいたします。

副市長（三宅生一君） 終わりに当たりまして、一言お礼のごあいさつを申し上げたいと思います。

委員の皆様方には、終始ご熱心に議論をいただきました。なおかつ、適切なご決定を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げたいというふうに思います。また、通じていただきましたご提言等につきましても、それを踏まえ、確かな行政の推進にしていきたいというふうにも思っております。

さて、これから日に日に熱くなってくるということになりますが、皆様方にはくれぐれもご自愛をいただきながら、ますますのご発展をご祈念申し上げたいというふうに思います。本日はどうもありがとうございました。

委員長（惣台己吉君） 執行部の皆様には大変ご苦勞さまでございました。

〈議会への提案について〉

〈回答案について協議〉

・番号1

〈決定〉

以上でこちらからは特にございませませんが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

〈なし〉

〈議長あいさつ〉

委員長（惣台己吉君） 以上で建設水道委員会を閉会いたします。ご苦勞さまでした。

○議会への提案

番号1

回収場所	記入日	内 容
大江公民館	4月15日	井原市の観光名物が必要。 例 九州の「九重夢大橋」 総工費20億円で10年 1千万人達成 (500円×1000万) 大江の 嫁入らず観音院～経ヶ丸、でんちゅう君とコラボしたケーブルを設置。 例：唐津城の昇りをエレベーター設置してあり、老人・幼児が登れる。

回答（案）

この度は、井原市議会へご提案いただきありがとうございます。

〇〇様からいただきましたご提案につきまして、井原市議会から回答させていただきます。

井原市には、中世夢が原、美星天文台、田中美術館などの観光・文化施設や景勝地、さらにはデニムや星空といったさまざまな観光資源を有しています。

このような観光資源の情報を広く発信し、さらには交流事業を実施することで、本市への観光客の誘致や交流人口の増加を図ることとしています。

また、今年度は井原デニムを活用した「デニムの聖地」元気いばら魅力活力創出事業や星に関するイベントに対し補助金を交付する予定で、民間の活力を生かした取り組みを支援してまいります。

さらに井原市マスコットキャラクター「でんちゅうくん」の知名度が全国的に高まってきていることから、でんちゅうくんを活用した魅力発信を強化してまいります。

今回ご提案いただきました九州の「九重夢大橋」や嫁入らず観音院～経ヶ丸を結ぶ観光用ケーブルのような大がかりな設備については、多大な経費がかかると想定されることから、新たな建設は困難であると考えております。

なお、経ヶ丸グリーンパークについては指定管理者制度を導入し年々利用者が増えているところであり、引き続き指定管理者と協力し環境整備に努め、また、ユニークな信仰で知られる嫁入らず観音院については積極的なPRに努め、観光客増を目指してまいります。

議会におきましては、市民の皆様からのご意見等を伺いながら、市政発展のため活動してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。